

◆ 岩舟町産ぶどう輸出式

7月3日(木)、栃木市岩舟町産ぶどう輸出出発式が岩舟地区青果物一元集荷場にて、関係機関・団体出席のもと、盛大に開催された。今回輸出したぶどうは7月7日(火)から伊勢丹シンガポールスコッツ店において開催した栃木ぶどうフェアで販売し、岩舟町産ぶどうの品質の高さから高評価を得られ、国内外への需要拡大に期待される。



◆ 夏秋いちご連絡協議会総会・現地検討会開催

7月6日(月)、矢板市およびさくら市内にて、夏秋いちご連絡協議会会員(なつおとめ生産者およびJAや県関係者など約50人)が出席し、「夏秋いちご連絡協議会総会」および「現地検討会」を開催した。

平成27年度については、現在の7会員から11会員へ増加する見込み。なお、役員改選があり、新しい協議会長に、「いちごの里」の栃木浩一氏が選任された。いちごの里ではなつおとめの栽培拡大に取り組んでおり、栃木会長は「栃木県のなつおとめの作付け拡大に取り組んでいく」と抱負を語った。なお、現地検討会では、さくら市の長島様のほ場にて、県経営技術課櫻井専技から今後の栽培管理中心とした技術を学んだ。



◆ 根圏制御栽培現地展示会への参加

7月7日(木)~8日(金)、県農業試験場が開発した新技術「根圏制御栽培法」の技術普及のため、県内外の多くの生産者が参加した根圏制御栽培現地展示会が開催された。根圏制御栽培法は、移植翌年には収穫が可能、かつ高品質・多収量で、老朽化した果樹園の更新及び経営向上に期待される。



◆ シンガポール 伊勢丹スコッツ店での栃木市岩舟町産のぶどうフェア視察と新たなぶどう・にっこり・スカイベリーのバイヤーを探し求めて!

7月12日(日)~15日(水)にかけて、シンガポールに渡航し、伊勢丹スコッツ店にて開催された栃木市岩舟町産ぶどうフェアを県庁幹部と視察した。今年は、巨峰・シャインマスカット共に人気が高く、伊勢丹バイヤーからは高い評価を得た。特にシャインマスカットは、岡山の大振なシャインマスカットの売れ行きを抑え良好な販売だったとの事。また引き続き10月22日~24日にサンテックシンガポールで行われるOishii Japan 2015に向けた潜在バイヤーの発掘のための商談を行った。なおジュエロンポイントにある日本市場もクレア堀江所長補佐の先導で視察した。日本の食文化の様々なレストラン・ショップが店出していた。



◆ 第59回全国野菜園芸技術研究会宮城大会が開催される

7月15日(水)~16日(木)の2日間、愛媛県松山市で全野研愛媛大会が本県からの参加者10名を含む総勢約300名により開催された。本年の大会テーマ「しる、きく、まなぶ。つながる、そだてる 全国の仲間・将来を担う人たちとともに」のもと、次世代施設園芸や愛媛県の野菜の現状および購入苗の生産現場について講演及び現地視察が行われました。また、大会式典において野菜園芸功労者表彰が行われ、本県からJAかみつがトマト部の布施谷悦朗氏が受賞されました。



◆ 全国ナシ研究大会石川県大会へ参加

7月16日(木)~17日(金)、石川県にて全国ナシ研究大会が2年ぶりに開催され、本県からは各JA梨部会員ら37名の参加となった。初日は式典や記念講演が開催され、三越伊勢丹のバイヤーによる基調講演においては、本県のにっこり梨を5,000円/1玉で販売した事例等を交えながらバイヤーが売りたい商品への思いを伝えていた。2日目は日本最大の梨団地や石川県農業試験場の見学等を行った。次回開催は、2019年(4年後)福島県大会となる。



◆ 栃木県花き生産者大会

7月17日(金)宇都宮市で、生産者・JA及び関係者170名の参加を得て、JA全農とちぎと共催で栃木県花き生産者大会を開催した。大会では各種展示会及び共進会の表彰式を行った。

また、宇都宮大学茅野甚次郎氏により「経営者能力・市場対応能力とは」と題し、市場対応能力とは何か、経営者は何をすべきなのかについての講演、さらに、シンジェンタジャパン株式会社彦田岳士氏により「花きの問題病害虫と防除について」と題し、正確な農薬知識と適切な防除技術及び病害虫の生態を理解した適正な農薬使用について講演が行われ、最後に、平成26年度大日本農会農事功績者表彰緑白綬有功章を受章された花き部会長雫昭三氏の報告会が行われた。参加者は経営面と技術面を学び「売れるとちぎの花づくり」を目指していくことを全員で確認した。



◆ とちぎ農産物モニター交流会 i n とちまるショップ

7月20日(日)、東京スカイツリータウン・ソラマチ内にある「とちまるショップ」で、とちぎの農産物や農村地域に関心のある首都圏の消費者「とちぎ農産物モニター」に約100人に、県が育成した夏場のイチゴ「なつおとめ」の特徴や関連商品を紹介し、安全安心の理解促進や農村地域のファンを拡大するため、モニターと農業者をつなぐ交流会を開催した。

今回は、いちご農家との交流やなつおとめの試食を通じて、おいしいいちごの見分け方や出荷から店頭まで並ぶまでの流通等について意見交換を行い、農業に関する理解促進を図った。



◆ 特産部会こんにゃく専門部現地検討会開催



7月23日(木)、鹿沼市内でこんにゃく現地検討会が生産者および関係者50人が参加し、開催された。今回のテーマは、「みやままさり」の異株対策。昨年の「あかぎおおだま」の異株対策に続く第2弾の内容。県経営技術課の渡邊専技から現物サンプルを見ながらあるいは資料を確認しながら説明を受けた。

出席者からは、「なかなか見分け方が難しい」との評であったが、「品質向上のためには真摯に取り組む必要がある」との声もあった。

なお、当協会から「27年度栃木県こんにゃく立毛共進会」を9月10日～11日に実施することを報告した。

◆ 「第16回パワフルアグリフェア」県産農産物の安全安心PR

7月25日(土)～26日(日)の2日間に渡り、最新農業機械の展示会であるパワフルアグリフェアが宇都宮市の「みずほの自然の森公園」で開催された。連日の猛暑にもかかわらず約6千人の方が会場に訪れた。

当協会は会場内にブースを設け、とちぎの農産物元気アピールキャンペーンを行い、安全安心な県産農産物を提供していることをクイズ形式で出題するほか、安全安心クリアファイルの配布など、県産農産物に関する信頼性の確保やイメージアップを図った。



NHK番組「ときめきとちぎ」 栃木県産農産物・花イメージアップPR

NHK宇都宮番組「ときめきとちぎ」で、栃木県産農産物(地域ブランド農産物を中心に)を使用し、栃木県産農産物・花などの旬の美味しさや品質良さを紹介しています。栃木県産農産物・花イメージアップPRを実施することで、より多くの消費者へ、認知度向上・イメージアップ及び消費拡大を図ります。

1. 番組内容: NHK「ときめきとちぎ」 毎週金曜日午前11時30分～正午

①コーナー名: 「栃木の食材で簡単料理」

②放送日: 毎月第2週

2. 出演者: 野菜ソムリエコミュニティ栃木 野菜ソムリエ(番組指定)

キャスター: 長谷川静香さん

3. 7月の品目: ◇食材 高原ほうれん草 高原だいこん なつおとめ ◇花 りんどう(るりおとめ)

4. 8月の放送はお休みになります。



今後の予定

- 3日(月) スカイベリー生産連絡協議会総会(宇都宮市: コンセール)
- 5日(水) いちご王国グランプリ表彰式(宇都宮市: 県庁東館4階講堂)
- 6日(木) 冬春トマトグランプリ表彰式(宇都宮市: 県庁東館4階講堂)
第2回栃木トマト消費宣伝事業委員会(宇都宮市: JA会館第5会議室)
トマト専門部会議(宇都宮市: JA会館第5会議室)
2015サマーフェスティバルin海ほたる(千葉県: 海ほたる)
- 10日(月) こんにゃく作況調査(第1回)(鹿沼市～茂木町)
- 17日(月) 梨消費宣伝試食販売(東京都: JAビル大手町)
- 18日(火) 梨トップセールス及びメディアキャラバン(東京都: 大田市場他)
スプレーマム研究会役員会(宇都宮市: JA会館第3会議室)
- 20日(木) 球根切花研究会総会(宇都宮市: 駒生町ヴェール)
いちご無病苗担当者会議
- 27日(木) ~28日(金) りんどう研究会先進地視察研修会(山形県・福島県)



一般社団法人 とちぎ農産物マーケティング協会(平成27年8月発送)

TEL 028-626-2150 FAX 028-643-7853

<http://www.tochigipower.com/>

